

うららだより

●発行者 山本 正博
●編集者 広報委員会

45号



医療法人社団康明会 介護老人保健施設うらら

〒651-1603 神戸市北区淡河町淡河574

TEL 078-950-5177 FAX 078-950-5188

URL: <http://www.roken-urara.jp>



在宅強化型老健施設「うらら」

平成24年度の介護報酬改定では、高齢者が住み慣れた地域で生活し続けることの実現にむけ、老健施設においては「在宅復帰支援機能の強化」が主な改定内容とされました。この改定で、老健施設の基本サービス費「在宅強化型」が新設され、入所者様の在宅復帰率やベッド回転率の高い施設が評価されるようになりました。在宅強化型は、(表1)

(表1)

在宅強化型老健施設
・過去6ヶ月の在宅復帰率が50%以上
・過去3ヶ月のベッド回転率が10%以上
・過去3ヶ月の要介護度4・5の方の割合が35%以上

の要件をすべて満たす必要があります。

全国3800余りの老健施設があるなかで、在宅強化型の基準を満たす施設は、全体の約3.5% (平成24年10月) と厚労省の実態調査で報告されており、在宅強化型老健施設はまだまだ数少ない状況です。

当施設は平成16年10月に開設以来、地域に根ざした老健施設として利用者様の在宅復帰支援、在宅生活支援に注力してきました。在宅復帰に向けては、医療・看護・介護・リハビリ・栄養管理・相談業務といった専門職種間の連携が重要ですが、それにも増して、家族様のご理解、ご協力なくしては在宅復帰を支援することなど不可能です。

当施設は皆様のお蔭をもちまして、開設から10周年を迎えることができました。また、平成24年11月より在宅強化型の施設として老健の役割を果たすことができている。これからも変わることなく在宅復帰、在宅療養の中核施設として地域の皆様にお役に立てますよう、更なる努力を重ねていく所存でございます。

リスク管理室主任・介護支援専門員 上月 稔彦

「うらら」が開設して10年が経過しました。この間、施設長をはじめとしてスタッフ一同、淡河に根ざした「地域に愛され、信頼されるうらら」を目指して努力して参りました。当初からのうららのモットーである「自分らしく生きる（生きていただく）」を入所、通所の皆様に実感していただけるように、これからも頑張っていく所存であります。

今年4月から就任していただいた山本正博施設長は、幸いにも淡河町の出身であり、この地の実情に精通しておられます。「うらら」をご利用の皆様方により細やかな支援や介護をしていただけるものと思われま

す。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



医療法人社団 康明会 介護老人保健施設うらら 施設長 山本 正博

自然環境豊かなこの淡河の地に、介護老人保健施設「うらら」が開設されて10周年を迎えることになりました。これまで地域の皆様に賜りましたご支援とご厚情に対し心より感謝申し上げます。年齢を重ね、認知症や慢性疾患を抱えても地域で暮らせる仕組みは、今では国をあげての急務となっています。「うらら」は、このような方々に対して、看護・医学的管理のもと、介護、リハビリテーションなどを提供し、また、介護予防や家庭における生活支援のサービスを提供することによって、住み慣れた自宅や地域で、「自分らしく」、安心して生活が続けられるようお手伝いすることを目的とする施設です。利用者の皆様はもとより、これからも地域の皆様に広く愛され、お役にたてる施設をめざして、職員一丸となって頑張っていきたいと思います。



医療法人社団 健心会 北都病院 理事長・こやまクリニック代表 小山 治 様

もう10年経ちましたか、早いものです。

山口で仕事を終えられ東京に隠居されると言われていた武下前施設長に、芝生の広場でゆっくり読書ができるからと来ていただきうららの基礎を固めていただきました。この春ご退職になられるまで誰も芝生で読書されているのを見たものはありませんでした。

この春から山本施設長に受け継がれ、ますます地域に密着した施設になっています。今年の夏祭りの賑やかさは地域にとって掛け替えのない交流の場になっていることに喜びを感じました。

今後ますます「淡河のうらら」として発展することを確信しています。



地域の皆様からのメッセージ

淡河町自治協議会 会長 永福 武 様

開設10周年おめでとうございます。先日は「うらら夏祭り」にご招待いただきありがとうございました。車椅子のご老人たちが、家族や施設の方々と楽しそうに話合ったり、音楽に合わせて手拍子を打ったり、楽しそうに過ごしておられる姿に感激いたしました。

淡河町も若者が都会へ出て行き、地元には年老いた親たちが細々と田畑を守るといった現状で、他人の手を借りなくては生活ができない方たちが増え、うららさんのような施設に入所を希望されていますので宜しく願いいたします。「介護老人保健施設うらら」様が益々御発展されることを御祈願いたします。



淡河婦人会 会長 辻崎 まさゑ 様

10周年おめでとうございます。益々高齢社会を迎える中、淡河の美しい自然に恵まれた「介護老人保健施設うらら」が設立されていることは、淡河住民のみならず他方面の高齢者の方々にどんなに安らぎを見出し、出しているかと、とてもうれしい気持ちになります。私も毎年夏祭りに参加していますが、「昨年お出会いした方お元気かな?」「東京音頭、炭坑節の曲に手拍子いただけるかな?」と夏祭りが近づくと胸がわくわくします。

施設から「うららだより」を届けていただき、お世話なされている方々のアイデアにより西山牧場に行かれたり、淡河町文化祭には書道を出品されたり、いろいろな生きがいづくりに努力なさっている記事を拝見し、私達も地域のボランティアとして来年の夏祭りにも参加させていただき、踊りの輪が益々大きくなることを願っております。



老人クラブ上淡河寿会 会長 谷口 忠司 様

開設10周年おめでとうございます。ご承知の通り高齢化の現状は、昨年総務省の発表にありましたように4人に1人が65歳以上になっています。私達の集いの場で異口同音に、せめてこの生まれ住みし郷に生きがいづくりの心のこもった医療と介護施設の創設を望んでいましたところ、平成16年10月1日、この郷に明るく柔らかに照らす温かい光の意を含む「うらら」が設立されました。そして早や10年を数えました。この立派な設備と職員の皆さまがおられることは、うららの意義をいっそう高め将来の発展は期して待つべきものと信じて疑いません。「自分らしく生きるために心のこもった医療と介護」に心から感謝しております。本当におめでとうございます。



上淡河婦人会 会長 前田 武子 様

10周年おめでとうございます。この4月より上淡河婦人会の会長をさせてもらっています。何事も初めての事ばかりで戸惑うことばかりです。高齢化が進む淡河町に介護老人保健施設ができると嬉しいニュースをお聞きしてから早10年にもなるのですね。夏祭りで初めて来させていただき、顔見知りの方にお会いし、献身的にやさしく接しておられる職員の皆様に拝見し、心温まる思いでした。婦人会にも何かお役にたてればと思っております。



地域の皆様に支えられ、ようやく10周年を迎えることができました。この間、利用者様、家族様のご理解とご協力をいただきながら、一定の評価をいただけるようになったと思います。今後はさらなるサービスの向上を心がけ、地域の皆様に愛され続ける施設を目指したいと思います。

事務長 安田 啓二

日本は世界に前例のない速さで高齢化が進み超高齢社会を迎えました。今後は地域との連携が益々重要になってくると思われます。うらはは尊厳を重視した寄添う介護の実践をめざし、これからも質の高いケアが提供できるようにスタッフともども日々研鑽していきたいと思っています。

療養部 部長 堤 裕紀恵

10年という年月が長いようで短かったというのが今の感想です。開設当初から多くのスタッフが今も携わっており、みんなで支えあって今現在に至っています。今後もうらの理念に基づき一層心のこもった医療と介護で応援をしていきます。

療養部 次長 香月 高志

10年間ありがとうございました これからもよろしくお願いいたします。



うらはは、20年30年と年輪を重ね、加速する高齢化の中で、地域の皆様に一層お役に立てるよう努めていきたいと思っています。また、一看護師としては、常に利用者様やスタッフと向き合い、人間力を大切に進んでいく所存です。

2階看護科 主任 鈴木 しのぶ

認知症の利用者様は、なかなか体の不調や心の中のことを言葉に出して伝えることが難しいです。そのような声にならない思いをくみ取っていければ…と思います。これからも利用者様が笑顔でお過ごし頂けるよう、家族様にご協力頂きながらスタッフ一同頑張っていきたいと思っています。

3階看護科 主任 十河 恵美子

この10年多くの利用者様との出会いや別れがありました。全てが私の大切な思い出となりました。毎日が慌ただしく、利用者様にゆっくりと寄り添えず反省の日々です。いつも笑顔で接し安心を提供できるように、職員一丸となり頑張っています。

2階介護科 主任 山田 京子

気付けばあっという間の10年でした、その間多くの利用者様との出会いによって学び、成長することができ本当に感謝です。これからも入所される方々が安心して過ごせる場所を目指し20年、30年と成長できるように3階職員一同頑張る思いです。

3階介護科 主任 谷川 陽一

うららに入職してあっという間に10年の月日が流れました。開設当初デイケアは1名の利用者からスタートしました。今では平均30名、多い時は定員の40名の方に利用していただいています。これからも心のこもった介護で職員一同、精進していきます。

デイケア介護科 主任 平野 兼司

早いもので開設から10年、リハビリ職員も皆ベテランとなってまいりました。

これからも利用者様の在宅支援・自立支援を目指してスタッフ一同精進していきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

リハビリテーション科 主任 岸本 直人

「楽しく・おいしく・安全に」これぞ私が目指すところと日々、取り組んできました。

施設では一人部署ですが、厨房では委託会社のスタッフが組織を超えて支え続けてくれました。これからも、利用者様の「おいしかった」の笑顔に出会えるように栄養科みんなで切磋琢磨していきたいと思っています。

栄養科 主任 森谷 朋子

デイケア・ショートステイ・入所、10年間にわたり、リハビリ目的や介護負担の軽減、在宅復帰を目標とし、たくさんの方にご利用いただきました。今後も、地域で身近な存在の「かかりつけ老健」になれるよう皆様のお声を聴いていきます。

支援相談員 主任 上野 一義

当施設では自家発電設備による電力確保に加え、保存水や非常食を備蓄しています。利用者様が安心して生活できるよう、今後も消防訓練や防災訓練などを重ね、施設の安全管理に取り組んでいきます。

リスク管理室 主任 上月 稔彦

あと10年先には、いき場のない看取り難民が増えると言われています。介護保険者証がお手元に届く65歳位でそろそろ「終活」を考えていく必要があるそうです。要介護状態になられても、自分らしく生きていけるよう在宅生活を一緒に考え支えていきたいと思っています。

居宅介護支援事業所 管理者 沖本 政美



第10回うらら夏祭り

8/17(日) うらら夏祭りを開催しました。今年は、記念すべき『うらら』開設10周年を迎え、例年以上に皆様楽しんでいただけたよう、スタッフ一丸となり準備を進めてまいりました。前日までの悪天候から雨の心配をしておりましたが、午後より晴天に恵まれました。夏祭りが開始し、力強い吉川錦太鼓の演奏、上野丘学園の皆さんによるエイサー踊りと続き、盛り上げて頂きました。食事タイムでは、野外にて焼きそばやコロッケ、フランクフルト、ゲーム等の出店をご家族一緒に楽しめる姿が拝見できました。そして、夏祭りには欠かせない、淡河・上淡河両婦人会の皆さんによる盆踊り。楽しみにされていた利用者様が、大勢盆踊りに参加され、より一層盛り上がりアンコールの運びとなりました。あたたかいご支援をいただきました家族様、お力添え下さいました関係者の皆様に、この場をお借りして深く御礼申し上げます。



吉川錦太鼓



上野丘エイサー隊



婦人会盆踊り

行事委員長 清原 智香子

委員会活動

施設ではいろいろな委員会活動を行っています。

業務委員会	教育委員会
事故対策委員会	身体拘束・虐待防止委員会
感染対策委員会	給食委員会
排泄委員会	行事・レクリエーション委員会
広報委員会	倫理委員会
菜園委員会	

活動の一部を紹介します。

感染対策委員会の活動

感染対策委員会の活動としては、季節に応じて流行する感染症への注意の促しや、ポスターを作成し各フロアに掲示しております。特に食中毒に関しては食べ物（生物）の差し入れはできるだけお控え頂くよう家族様にお願いをし、持ち込みの場合はその場で食べられる量にさせていただくよう声掛けをしています。

また、感染対策として各フロアでステリパワー（殺菌水）噴霧器にて空間除菌を年中行っております。そして、基本的な手洗いやうがいを実施して感染予防に努めています。

感染対策委員 三好 佑樹



今年15名が

勤続10年表彰を受けました。

代表として2F介護科の船橋副主任よりコメントをいただきました。

早いものでうららに入職して10年という月日が経ちました。うららに入職した初年度は、職員の思いや意見の違いで、施設をたちあげるのに大変苦労しました。“私たちは地域のみなさまが自分らしく生きるために心のこもった医療と介護で応援します。”という理念をモットーに、私達にいったい何ができるのかという事をみんなで話し合い、力をあわせ協力し徐々に地域に根付いた施設になっていきました。

これからも職員全員でうららを盛り上げて“うららは神戸で1番や〜”と地域のみなさまに愛されるような施設をめざしたいと思います。

2階介護科 副主任 船橋 圭

編集後記

さわやかな過ごしやすい季節となりましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。

うららも設立10周年を迎える事となりました。今年度の広報委員は全員が初めて携わり分からないことだらけでしたが全員やる気に満ち溢れ、利用者様、家族様はもとより、もっと『うらら』という施設を知ってほしいという思いでホームページの更新、広報誌の作成、地域へのPR活動を頑張っていると考えています。次号もうららの魅力満載になるようお届け致しますのでお楽しみに(*^_^*)

広報委員 山口 嘉昭